

|   |                            |                      |
|---|----------------------------|----------------------|
| <b>授業科目</b><br>精神保健学演習  | <b>科目概要・形式</b><br>2単位 60時間 | <b>配当年次</b><br>1年 後期 |
| <b>科目責任者</b>  | 大山博史                       |                      |
| <b>担当者</b>  | 大山博史、坂下智恵、石田賢哉             |                      |
| <b>1. 科目のねらい・目標</b><br>精神保健に関する諸問題のリスクや介入等について、課題を明らかにし、その研究方法を検討する。エビデンス・ベースド・プラクティスの立場から関連文献や研究計画に対する考察を行う。   |                            |                      |
| <b>2. 授業計画・内容</b><br>第1～3回 根拠に基づくメンタルヘルス<br>第4～6回 地域におけるメンタルヘルスの課題<br>第7～9回 職域におけるメンタルヘルスの課題<br>第10～12回 学校におけるメンタルヘルスの課題<br>第13～15回 老年期におけるメンタルヘルスの実際<br>第16～18回 壮年期におけるメンタルヘルスの実際<br>第19～21回 青年期におけるメンタルヘルスの実際<br>第22～24回 学童期におけるメンタルヘルスの実際<br>第25～27回 乳幼児期におけるメンタルヘルスの実際<br>第28～30回 トピック：自殺対策の基礎と実践 |                            |                      |
| <b>3. 教科書、参考書</b><br>参考書<br>訳者 木原雅子他：「医学的研究のデザイン 第3版」、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2009年、ISBN 978-4-89592-583-9 C3047  |                            |                      |
| <b>4. 成績評価方法</b><br>課題発表、出席状況により評価する。   |                            |                      |
| <b>5. 受講要件</b><br>保健・医療・福祉領域における臨床経験がある者が望ましい。  |                            |                      |
| <b>6. 社会人学生に対する配慮</b><br>夜間開講科目   |                            |                      |
| <b>7. その他</b><br>受講生の関心のあるテーマを取り上げて授業を進める。  |                            |                      |